



香川大学・チェンマイ大学共催

「第6回香川大学・チェンマイ大学合同シンポジウム2016 ～ Healthy Aging and Sustainable Society ～

平成28年8月27日(土)～30日(火)、本学において、第6回香川大学・チェンマイ大学合同シンポジウムを開催し、本学とチェンマイ大学の参加者合わせて、約160名の教職員、学生が参加しました。

初日は、チェンマイ大学の参加者を対象に、本学の経済学部の学生が中心に地域活性化プロジェクトを実施している東かがわ市へのフィールドワークを実施し、東かがわ市の担当者をはじめ、多くの人から歓迎を受けました。

翌日は、午前にはポスターセッション、午後から開会式の行事が行われ、徳田副学長の開会の挨拶に続いて、長尾学長、Piyapong学長補佐から挨拶がありました。

その後、3会場、2日間にわたって、「Social Science and Humanities」、「Economics and Business」、「Medicine and Nursing」、「Engineering」及び「Agriculture」のセッションが行われ、各会場で活発な議論・質疑応答が行われました。

最終日は、今年が、チェンマイ大学との合同シンポジウムを実施してから、10年の節目になることから、「Celebrating Ten Years of the KU-CMU Joint Symposium-Reflections of the past and recommendations for the future-」と題して、パネルディスカッションが行われ、各パネリストから10年間の両大学の取り組みや将来の交流の在り方等について発表があり、その後、意見交換や議論が行われました。

今回のシンポジウムは、本学ならびにチェンマイ大学からも多数の学生が参加し国際交流を深めることもでき、教員だけでなく学生にとっても有意義なものとなりました。

次回は、2年後にチェンマイ大学において、第7回香川大学・チェンマイ大学合同シンポジウムが開催される予定です。

(国際グループ 上田幸司)



集合写真



セッションの様子

<国際交流活性化の推進>

学術交流協定締結調印

- 2016年 4月 1日 香川大学工学部及び大学院工学研究科とアルビ鉱山大学との覚書、香川大学工学部及び大学院工学研究科とアルビ鉱山大学との学生交流プログラムに関する実施細則、及び香川大学工学部及び大学院工学研究科とアルビ鉱山大学とのインターンシッププログラム協定の締結
- 2016年 4月13日 本学農学部及び大学院農学研究科と嘉義大学農学院との学術交流協定に関する実施細則
- 2016年 4月25日 香川大学大学院工学研究科とチェンマイ大学工学部及び大学院研究科のダブルディグリープログラムに関する照会事項覚書締結
- 2016年 5月25日 本学と聖公会大学校との学術交流協定書
本学と聖公会大学校との学術交流協定書に基づく学生の交流に関する実施細則
- 2016年 5月26日 本学と聖公会大学校との学術交流協定書
本学と東西大学校との学術交流協定書に基づく学生の交流に関する実施細則
- 2016年 6月15日 本学とシラパコーン大学との間の学術交流協定書
本学とシラパコーン大学との学術交流協定書に基づく学生の交流に関する実施細則
本学農学部及び大学院農学研究科とシラパコーン大学工学・産業技術学部との学術交流協定に関する実施細則

学生等によるインターナショナルオフィス表敬訪問



コロラド州立大学

5月19日(木)、コロラド州立大学(アメリカ)で日本語を学習している学生7名及び教員1名が、本学の徳田インターナショナルオフィス長を表敬訪問しました。



エッカード大学

5月31日(火)、エッカード大学(アメリカ)の学生5名、教員2名が、本学の徳田インターナショナルオフィス長を表敬訪問しました。



サボア・モンブラン大学

6月9日(火)、サボア・モンブラン大学のThierry Villemin 副学長、Isabelle Villemin 副学長夫人、Philippe Bolon ポリテク・ヌアシーシャンベリー校副学部長(国際交流担当)、Emilie Viret-Thasiniphone 国際交流室職員が、本学インターナショナルオフィス長を表敬訪問しました。



チェンマイ大学

7月4日(月)、チェンマイ大学(タイ)から本学教育学部開設の「アジア・アメリカ異文化交流プログラム」に参加の学生8名が、本学の徳田インターナショナルオフィス長を表敬訪問しました。



さくらサイエンスプラン事業の招へい者
7月11日(月)、アジアと日本の青少年が科学技術の分野で交流を深めることを目的とした独立行政法人科学技術振興機構の「日本・アジア青少年サイエンス交流事業(さくらサイエンスプラン)」により招へいされた参加者8名が、徳田インターナショナルオフィス長を表敬訪問しました。



食の安全、機能解析教育に関する東南アジア等の大学間体験学習型プログラム
8月22日(月)、農学部の「食品の安全・機能解析教育に関する東南アジア等の大学間体験学習型プログラム」短期受け入れ学生29名が、インターナショナルオフィス長を表敬訪問しました。



SUIJI国内サービスラーニング
9月2日(金)、平成28年度SUIJI国内サービスラーニング(香川大学受入:小豆島サイト)の学生15名(インドネシアの学生5名を含む)が、徳田インターナショナルオフィス長を表敬訪問しました。

(国際グループ 上田幸司)

<学生対象行事>

平成28年度4月期 新入外国人留学生ガイダンス

平成28年4月9日(土)、インターナショナルオフィスは、平成28年4月期入学の外国人留学生に対し「新入外国人留学生ガイダンス」を開催しました。

当日は、高松北警察署から講師をお招きし、生活様式や交通ルールの違いから起こりやすい事件・事故を未然に防止するための「法令遵守ガイダンス」を行いました。講師からは、生活安全関係では加害者や被害者にならないために、麻薬や万引き・ひったくり等の身近な犯罪行為について、交通関係では留学生の多くが利用する自転車のルールや罰則について映像を交えたり、実物の自転車を使ったりする説明がありました。



法令遵守ガイダンスの様子



留学生センター長の挨拶

当日午前中は、留学生会館(留学生寮)と花園寮(留学生寮)、上之町国際寮(混住寮)のガイダンスも開催しました。

(インターナショナルオフィス 正楽 藍)

平成28年度春期 さめきプログラム及び国費外国人留学生修了式

平成28年7月27日(水)、オーリースクエア多目的ホールにて、さめきプログラム及び国費外国人留学生修了式を実施しました。さめきプログラム部分に関しては別記事にしていますので、ここでは国費留学生について報告します。

今回修了した国費留学生には2種類あり、1つは予備教育を受けて今後大学院工学研究科に入る予定の留学生(「留学生の声」を参照)、もう1つは日本語・日本文化研修留学生の2名(詳しくは前号に掲載されています)です。後者の2名は、自分の最終レポートのテーマについて発表を行いました。修了式の後に実施された送別会(情報交換会)では、彼ら全員が日本語でスピーチしました。仏生山国際交流会のご協力、今回も全員が浴衣を着ることができました。この場を借りて改めて御礼申し上げます。(インターナショナルオフィス 高水 徹)



修了式の様子

平成28年度(夏季)海外渡航者向け 危機管理セミナー

平成28年8月4日(木)、インターナショナルオフィス主催「海外渡航者向け 危機管理セミナー」を開催しました。

先ず、ジェイアイ傷害火災保険株式会社中国四国支店の長沼康行氏から、本学日本人留学生の多くが加入するジェイアイ傷害火災保険の窓口対応や付帯するサービスについてご説明いただきました。

次に、株式会社 J&Jヒューマンソリューションズの梶村詔子氏からは、「海外研修/留学生のための海外リスクマネジメント」として、海外渡航中に起こり得るさまざまなリスクと事故を、国別、地域別にご説明いただきました。最近、多くの方が犠牲になる事件がよく聞かれますが、「避けることのできる」事件や事故も少なくありません。また、梶村様には飲酒等、海外の人と日本人との生活スタイルやそれらに対する考え方の違いについてもご説明いただきました。

(インターナショナルオフィス 正楽 藍)



梶村氏による講演



徳田オフィス長による指導

外国人留学生への就職支援

外国人留学生への就職支援は、全学的にはキャリア支援センターが行っていますが、インターナショナルオフィスでも香川県留学生等国際交流連絡協議会と連携した支援を行っています。

平成28年4月27日(水)、百十四銀行研修会館にて、百十四銀行就職セミナーが実施されました。本セミナーは、本学が実施したものではありませんが、百十四銀行にご提案をいただいたことにより実現したもので、今回が3回目となります。本学から4名、穴吹ビジネスカレッジから4名の留学生が参加しました。

人事部より「会社の歴史・事業内容」、市場国際部より「会社の国際業務について」というお話を伺うことができ、続く質疑応答では、留学生も積極的に質問していました。加えて今回は、就職した先輩留学生のお話を伺うこともできました。セミナー後半では、懇親会の時間も設けられ、充実した交流の機会となりました。このように企業側からお申し出いただくことはなかなかないケースであり、本学にとって貴重なセミナーとなっています。

平成28年8月5日(金)には、留学生採用支援セミナー&交流会を実施しました。本セミナーは、企業の留学生採用に資するため企業担当者を対象としたもので、百十四銀行と香川県留学生等国際交流連絡協議会の共催で行いました。内容は3部構成とし、第1部は高松入国管理局審査部門首席審査官河村氏より就労ビザについて、第2部は行政書士の山田氏より就労ビザへの切替手続きについて、ご講演をいただきました。第3部は留学生との交流会とし、企業担当者と日本企業への就職を希望する留学生が互いの理解を深めるためのコミュニケーションの場を設けました。留学生にとっては、企業説明会とは違い気軽に質問できることで日本企業への理解がより深まり、大変貴重な機会となりました。

同様のセミナー&交流会は11月中旬にも開催予定です。このような活動を通して、留学生を採用を検討する企業が増え、また日本での就職を希望する本学留学生がよりよい形でマッチングされていくことを願っています。

(国際グループ 浅野文恵)



河村氏による講演の様子



企業担当者と留学生の交流の様子

オープンキャンパス2016

平成28年8月9日(火)、香川大学オープンキャンパス2016(幸町キャンパス)において、本学における国際交流活動についての紹介イベントをEnglish Caféで実施しました。English Caféでは、インターナショナルオフィスの外国人教員によるCaféでの英語レッスンや外国人留学生との交流活動の紹介のほか、日本人教職員による香川大学の海外留学プログラムや留学のための奨学金、国際寮についての紹介及び個別相談も行いました。

また、当日は、経済学部ゼミナール連合協議会が実施した学生イベントにも参加し、海外留学プログラムや奨学金の紹介のほか、来訪者に対する個別相談を行いました。



個別相談の様子



(インターナショナルオフィス
正楽 藍)

ネイティブ教員による
イングリッシュカフェ紹介

ランチプレゼンテーション会

本取組みは2011年から開始したものであります。今時点で、延べ76回の発表をして来ています。2016年4月から7月まで、学生たちは13回の発表をしてくれました。その内訳は、留学生9名、日本人学生3名の他、カリフォルニアからのお客さん3名を加えて、合計15名で、国籍はミャンマーをはじめ、セネガル、ブルネイ、ベトナム、タイ、ドイツ、マレーシア、アメリカと日本を入れると9カ国になります。発表したテーマは自国あるいは自分の故郷の紹介や旅行の話でした。発表者を含めて、参加者の合計人数は316名でした。そのうち、留学生は117名、日本人学生は199名でした。一回の平均参加者数は、24人となります。

司会者は、毎回、前週の発表者が担当しており、学生たちにとって、いい「訓練」になったではとされます。タイムスケジュールに関しては、最初の20分間は発表時間でした。その次の10分間は、質疑応答で、残りの時間は、学生同士の交流する時間を取りました。

6年間に渡って、様々なやり方で試行錯誤をして来ています。発表後の学生同士の交流時間のやり方は、かなり効果的であると思われます。

楽しく話し合いができる場は、次回も、来てみたいと言っていた学生さんもいました。

(インターナショナルオフィス ロン リム)

<外国人留学生リクルーティング活動>

各種進学説明会

インターナショナルオフィスは、留学生のリクルーティング活動および広報活動として、各種説明会に参加しています。説明会には JASSO 主催の大規模なもの以外にも、民間企業主催のものもあり、会場はイベント会場や日本語学校の校内などがあります。

4月から7月にかけて、岡山で3回、大阪で2回、高松で1回の説明会に参加しました。学部への入学を志望している留学生や、大学院への進学を志望している留学生が、今年度も多数本学ブースを訪れ、主に入試制度や奨学金について質問しました。優秀で意欲のある留学生が、進学先として本学を選択してくれることを願っています。

(インターナショナルオフィス 高水 徹)

開催日	開催地	備考
4月19日(火)	岡山	
6月3日(金)	岡山	
6月25日(土)	大阪	日本語学校の教員が対象
7月6日(水)	岡山	
7月7日(木)	高松	
7月16日(土)	大阪	JASSO主催 「外国人学生のための進学説明会」



本学ブース

<地域との交流活動>

留学生宿舎での交流会

平成28年7月2日(土)、香川大学上之町国際寮で、入居学生と寮近隣の地域の方々との交流を図るため、また、日本文化を体験することを目的として、「上之町国際寮交流会」(そうめん流し)を開催しました。上之町国際寮は、留学生の支援と日本人学生の国際性を涵養することを目的に、留学生と日本人学生が二人で一戸をシェアする混住寮として、今年度より民間から借り上げたものです。

交流会当日はお天気にも恵まれ、寮生らは寮内を清掃し、そうめん流しの竹を設置したり、稲荷ずしを作ったりして、地域の方々をお迎えする準備に励みました。近隣からは上之町自治会長様を始めとする40名の方にご参加いただき、そうめんを食べながら交流したり、竹の横に設置したビニールプールで子どもたちと寮生が水鉄砲で交流したりと、大変盛り上がりました。

また7月16日(土)には、留学生会館で同様に交流会を開催しました。留学生会館は男子寮と隣接していることもあり、近隣の地域の方々に加えて男子寮の学生も参加しました。そうめん流しでは会話が弾み、食後には留学生と地域の子もたちが水鉄砲を共に楽しみ、大いに盛り上がりました。

このような交流の機会を通して、地域の方々との円滑なコミュニケーションを図り、今後も、お互いに気持ちよく生活できる環境を整えていきたいと思えます。

(国際グループ 浅野文恵)



上之町国際寮での集合写真



そうめん流しの様子

Kamino-cho International Dormitory

This dormitory is the most recent addition to housing provided by Kagawa University. Previously, the building was an accommodation for NTT employees and their families. As such, it is more like an apartment and is very spacious with each consisting of two bedrooms, a dining area, a kitchen, a bath and shower room, a toilet, and a storage room. Newly renovated, the dormitory comes with appliances and furniture including a refrigerator, microwave, gas stove, laundry machine, air conditioning, dining table, chairs, study desk, cupboard, and shoe box.

Located within Takamatsu but not at its center, it has the benefits of being in the city without the loudness. Since Takamatsu is very flat, many residents bike to campus. In perspective, it is approximately a 20 minute bike ride, but a train station is also right by the dormitory allowing for another means of transportation. With a grocery store and a major shopping mall nearby, living in this dormitory is quite convenient. In addition, it is very affordable with the rent being only 23,000 yen plus utilities.

There are two other university dorms offered to international students. They are located in Yashima and Hanazono. Unlike these two, this dormitory in Kamino-cho is available to both international and Japanese students. It is not necessarily that an international student lives with a Japanese student. Rather by just having both live in the same building creates an environment where they can easily interact with each other.

(インターナショナルオフィス 町原友梨)

<プログラム紹介>

さぬきプログラム報告

プログラムの概要

協定大学からの特別聴講学生が、1学期間日本語および日本文化を学習するプログラムで、日本語入門レベルの学生が対象です。授業は週10コマの初級日本語および週4コマ程度の初級日本事情(および類似科目)により構成されています。初級日本事情は英語により実施されている授業です。また、プログラムの一環となっている経済学部提供の特別講義も英語により実施されている授業ですが、こちらは日本人学生も履修登録可能になっています。初級日本事情は現時点では日本人学生は聴講のみ可能となっていますが、将来的には日本人学生も正式に履修可能にしたいと考えています。

プロジェクトさぬき

本プログラムの特徴の1つが、上記の科目に加えて、「プロジェクトさぬき」を含むことです。本科目は、学生たちが自らの設定した日本(特に香川)に関するトピックに関して、調査し、レポートを作成するプロジェクトであり、文献によりデータを収集したり、自ら関連したアンケート調査を実施することで、内容に深みを与えています。これらの作業を行う際、指導教員に加えてチューターである日本人学生の助けも得て、本人たちにとって収集が難しい、生のデータも扱っています。

H28 前期の学生

本プログラムの受講生とプロジェクトのテーマは、International students at Kagawa University (NUR IZZATI BINTI HAJI SAHARI)、Kagawa Prefectural symbols (MOHAMMED NURAJIMAN BIN HAJI MOHD RIDUAN)、Udon impact on tourism and economy (KINGKARN YUENPAIROJ)となっています。また、別記事の予備教育の国費留学生も、プロジェクトさぬき以外の授業には参加しています。



発表の様子

修了式および送別会

今回の初の試みとして、修了式において、プロジェクトさぬきの発表を実施しました。学生たちは上記のプロジェクトに関してスライドを作成し、英語により発表を行いました。送別会では、彼らも浴衣を着て、あらかじめ準備した日本語スピーチを行いました。

(インターナショナルオフィス 高水 徹)

全学共通科目「海外体験型異文化コミュニケーション」(タイにおける研修)の実施

インターナショナルオフィスは、全学共通科目「海外体験型異文化コミュニケーション」を提供しています。今年度も、本学の重要な協定校であるタイ北部のチェンマイ大学の協力を得て、研修を実施しました。今回の参加者は5期生になり、教育学部から3名、工学部から1名の計4名で、全員1年生でした。チェンマイでの研修日程は、8月14日(日)から8月26日(金)までで、同大学の授業への参加、各種フィールド学習、日系企業見学の他に、英語による各学生の出身地紹介や、チェンマイ大学バディーズとのディスカッションなどの多様な内容が含まれていました。本研修における体験が、より長期の留学につながる流れができつつあり、今後より一層それが強化されることを期待しています。

(インターナショナルオフィス 高水 徹)



Rome 副学長他現地教職員と本学一行

トビタテ！留学 JAPAN

日本代表プログラム 香川地域活性化グローバル人材育成プログラム

第5期派遣留学生壮行会を開催

「トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラム」は平成25年度から政府が官民協働のもと社会総掛かりで留学促進に取り組む制度で、採用された学生は支援企業からの寄附金で留学します。その一つのコースである「地域人材コース」の香川県版プログラム「香川地域活性化グローバル人材育成プログラム」では、香川県ならではの地域資源や技術と関連の深い産業の発展を担う人材の育成を目的として、香川県の成長産業、なかでも「香川県産業成長戦略」において成長のエンジンとなる分野や重点プロジェクトに選定された分野を中心とした留学及び地域内インターンシップを支援しています。

平成28年度前期(第4期)募集では本学から4人が採用され、平成28年4月以降順次留学を開始しています。平成28年度後期(第5期)では、本学からは5人が採用され、学生は平成28年8月後半以降順次海外へと出発します。

平成28年8月5日(金)に香川大学幸町キャンパスにて「トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラム 香川地域活性化グローバル人材育成プログラム 第5期派遣留学生 壮行会」を開催しました。工代祐司 香川県審議監を始め、地域企業、県内の高等教育機関等から約50人が参加。香川県全体で派遣留学生を応援し、地域を盛り上げていくイベントとなりました。派遣留学生は支援企業や、過去にトビタテ！留学 JAPAN に採用されて留学した学生などから激励を受けるとともに、留学で何を学び香川に貢献するかについて決意表明することで、地域とのつながりを深めることができました。また、派遣留学生が留学や県内インターンシップを通して、香川と世界をつなぐ役割を果たすことを期待して「Student Ambassador of Kagawa」の称号が付与されました。

(国際グループ 福家徹也)



香川の未来をつくる若者の留学を、オールジャパンで応援しています。

香川地域活性化 グローバル人材育成プログラム

第7期生募集予定!

応募期間の目安
(の実際と異なる可能性があります。)

2016年12月
2017年3月

このプログラムは、実証活動を含む海外留学と、香川県内の企業等とのインターンシップを組み合わせたプログラムを通じて、地域の強みを活かした成長産業等の発展に欠かせない人材を育成することを目的としています。

奨学金(返済不要)
月額12万円～16万円+滞欧費+授業料
留学期間 28日～2年間

支援企業・団体 (2016年8月1日現在)

株式会社アスファイト サヌキ松谷株式会社
株式会社 山本建設工業 株式会社 TADANO
株式会社 エイブイ OICASA BUS
公益財団法人 松平公助会 公益社団法人 香川観光協会

香川地域人材育成コース協議会
協議会事務局
〒760-8502 香川大学幸町キャンパス 4号館4階
TEL 0870-31111 / FAX 0870-31112
MAIL kagawa@kagawa-japan.jp
http://kagawa-japan.jp



地域企業関係者等を交えての記念撮影

インターナショナルオフィス非常勤教員

〈新任インターナショナルオフィス非常勤教員紹介〉

My name is Yuri Machihara and this past May, I graduated from Colorado State University with a dual bachelor's degree in mathematics and music. For music, I studied harp, which I have been studying harp for over 10 years and had the fortune to specialize in it at school.

While my nationality is Japanese, I have lived in the United States since I was eight months old. As both of my parents are Japanese, I spoke Japanese at home. I learned English at school and am now comfortable communicating in either language.

During my time as an undergraduate at Colorado State University, I came here to Kagawa University as a foreign exchange student for one semester. I was the first from my home university to come to Kagawa on a long term exchange program. Studying at Kagawa University allowed me to become familiar with the campus and get to know many of the students, faculty, and staff members. This led me to come back a year later and start working at the university.

At Kagawa University, I am a Visiting English Teacher and work in the International Office. I have been mainly translating documents between Japanese and English, but also take part in the exchange activities Kagawa University has with other universities overseas. Even though I only came in July this year and am still getting used to this new chapter in my life, I am excited to work on the administrative side of the university and make international exchange more accessible.



At the summit of Mount Evans, Colorado.
Elevation: 4350m

〈イングリッシュカフェの使命〉

Since opening in 2014, the English Café has become an integral part of the continuing effort to promote global awareness on campus at Kagawa University. Staff are committed to providing students with constructive, specific, and detailed feedback on all areas of their language development in order for them to understand their strengths and weaknesses and how they can most effectively improve. In an effort to promote academic, professional and social development, Staff at the English Café have composed the following mission statement:



“ The English Café aims to be a welcoming and friendly environment where students feel confident communicating with others to expand their intellectual, social and cultural knowledge.”

(インターナショナルオフィス 熊谷信広)

<他機関との連携活動: JICAとの協調>

持続可能な開発目標にJICAと連携

香川大学は、独立行政法人国際協力機構(JICA)による連携で、国際的な取組である持続可能な開発目標(SDGs)に向けた17の開発課題の対応が進められています。2014年度から大学にJICA職員が派遣され、本格的な協力が開始されています。いままでに実施されている主要な開発課題への対応には、国連開発目標の第3の「すべての人に健康と福祉を」、第4の「質の高い教育をみんなに」、第6の「安全なトイレと水を世界中に」、第8の「働き甲斐も経済成長も」、第9の「産業と技術革新の基盤をつくろう」、第12の「つくる責任つかう責任」、第13の「気候変動に具体的な対策を」目標に沿った取組を実施しています。途上国からの研修員受け入れ(26・27年度採択分)は19ヵ国54名になります。

(インターナショナルオフィス 熊谷信広)

○開発目標第3「すべての人に健康と福祉を」

JICA草の根技術協力事業制度を活用して、

1. 「タイにおける妊産婦管理及び糖尿病のためのICT遠隔地医療支援プロジェクト」を実施しています。
2. 「カンボジア国カンダルスタン郡の衛生教育改善のための学校保健室体制の構築プロジェクト」(平成27年度補正/平成28年度予算地域活性化特別枠補正 新規採択)医学部看護学科が主幹となり農学部、教育学部、インターナショナルオフィスの教員で実施予定します。
3. 課題別研修制度を活用して、ICT利用による遠隔医療(周産期)プログラム;K-MIXによる遠隔医療関係者の協力による課題別研修を現在準備しています。

○第4の「質の高い教育をみんなに」

1. 国別特設研修制度を活用して、「コミュニティ・イニシアティブによる初等教育改善プロジェクト」のラオス教育省14名が研修をしました。
2. 日系研修制度を活用して、「速習MBAコース」ブラジル、メキシコ、パラグアイ、ドミニカ共和国17名が研修をしました。
3. アフリカの若者のための産業人材育成イニシアティブ(ABEイニシアティブ)「修士課程およびインターンシップ」プログラムを活用して、11名(スーダン、南アフリカ、ケニア、エチオピア、ブルンディ)が農学部及び経済学部にて研修を行っています。

○第6の「安全なトイレと水を世界中に」

課題別研修制度を活用して、「英語圏アフリカ村落給水プログラム」国内研修を学内研究協力グループである水プロジェクトチームが研修コースを実施(医学、農学、工学、教育学部担当)します。12ヵ国(ウガンダ、エチオピア、ガンビア、ケニア、ザンビア、ジンバブエ、スーダン、ソマリア、タンザニア、ナイジェリア、マラウイ、ルワンダ)14名来日します。

○第12の「つくる責任つかう責任」

日系研修制度を活用して、「食の安全研修」研修コース(農学部)で10ヵ月ブラジルから研修をしています。

○第13の「気候変動に具体的な対策を」

青年研修制度を活用して、「総合防災教育」を11名のパキスタンの研修員に実施します。本学、四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構が受託し、機構の有する大規模施設(3Dシミュレーターなど)と防災士資格訓練や学生防災ボランティア、地域の取組等とリンクした防災対策研修を実施します。

上記以外に、世界の開発課題に今まで青年海外協力隊(香川大学卒業の出身者)で41ヵ国90名参加(平成28年4月1日現在)し、毎年キャンパス内で青年海外協力隊募集説明会を開催しています。また、学生等の協力では、以下のプログラムで派遣されています。

- * JICAインターンシッププログラム2名(コートジボワール)
- * JICA大学生国際協力フィールドスタディ・プログラム3名(インドネシア、カンボジア、ラオス)
- * JICAパートナーシップセミナー1名(バングラデシュ)
- * ファーストステップ海外調査「農学分野の地域協力学生派遣ニーズの特定」2名(ラオス)

香川大学は、世界の課題に対応できるグローバル人材を輩出していくために、ますますJICAとの連携を強化していきます。

JICA日系研修の紹介

SAITO Gervásio Hitoshi

ブラジルからJICA日系研修(カビ毒とマイクロシスチン分析技術習得、2016年6月19日～2017年3月18日、9ヶ月間)で、香川大学農学部川村 理教授(食品衛生学)の指導を受けている SAITO Gervásio Hitoshi です。私は、ブラジル南部のパラナ州からきました。ブラジルでは、州立ロンドリーナ大学 (Universidade Estadual de Londrina、UEL)の薬学部 生物化学&バイオテクノロジー学科(2008～2012年)で、鶏飼料のカビ毒(マイコトキシン)に関する研究に携わりました。また、2013年9月～2014年7月まで、UELの日本文化研究所のプログラムで、日本の神田外語大学(千葉市)で10ヶ月間、日本語を勉強しました。

2015年からは、川村教授と長い共同研究実績があるUELのE.Y.Hirooka博士が中心的に関わっている “Production of monoclonal antibody as well as detection of toxins in water or food(wheat) samples” プロジェクトに参加しました。2015年後半に、JICAの日系研修 “カビ毒とマイクロシスチン分析技術習得” の募集があり、Hirooka 先生のアドバイスもあり応募し、採択されました。

6月19日に渡日し、JICA横浜での研修後、6月27日から香川大学農学部で川村先生の指導の下、研修を開始しました。まず初めは、分析に必要なアオコ毒(マイクロシスチン)に対するモノクローナル抗体を作る細胞(ハイブリドーマ)の培養を行いました。最初は複雑とっていましたが、川村先生の指導の下、約900 mLの培養上清を得ることができました(細胞培養技術を習得)。次に、私が作製した抗体を使ってELISAでマイクロシスチンの分析法を学びました。色々検討し最適条件の決定し、約100 pg/mLまでのマイクロシスチンを分析できる方法を確立しました。さらに、環境水のサンプリング方法や前処理法を習得し、現在、農学部近郊の平木尾池、女井間池、男井間池の水サンプル収集を始めました。今後、日本で集めたサンプルとブラジルからのサンプルを分析していく予定です。帰国後は、ブラジルでも同様に実験を行い、ブラジルの水の安全確保に貢献できればと考えております。

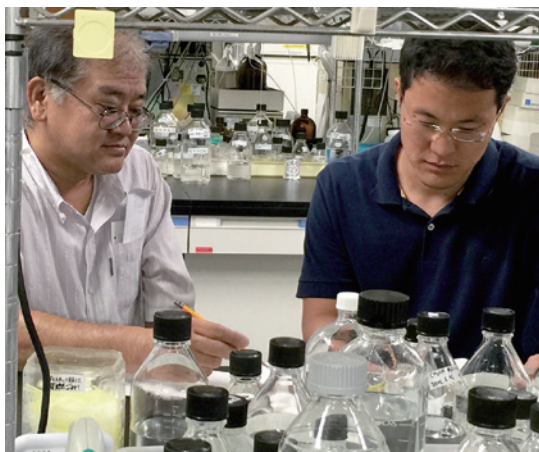
秋からは、カビ毒(マイコトキシン)の分析技術習得を行う予定です。11月末には、カビ毒の国際会議 ISMYCO 2016(東京大学)にも参加予定です。また、8-9月に農学部で実施されるSSプログラム(食の安全と機能性に関する短期受入)の一部に参加し、小豆島の醤油やそうめん製造工場、愛媛の日本食研やビール工場なども訪問・見学する予定です。

盛りだくさんのプログラムですが、これらの研修を通じて学んだことを、ブラジル日系社会の発展に寄与できればと考えております。また、このような機会を与えていただいたJICA四国を初め関係者の皆様と川村先生に感謝いたします。

受入教員から

SAITO君は、よくメモを取り、まじめで一生懸命、技術を習得しようとしています。土日もやることがあれば、大学に来て、実験やデータ整理などをやっています。これらのひたむきな姿勢にとっても好感が持てます。また、このJICA日系研修では、JICA四国の方が、研修員の生活面をととてもよく面倒を見てくれ、また、十分な費用をいただけるので、研修における心配がほとんどありません。研修を集中して行えます。SAITO君への技術習得が充分になされ、帰国後、ブラジル日系社会の発展に貢献してくれる人材になってくれればと思っております。

(農学部 川村 理)



川村教授との研究の様子

留学生の声

My life in Kagawa

Sy Khalifa(senegal)

I had very interesting and enjoyable experience in Kagawa. Here people are kind helpful and very often smiling. Kagawa is a big city were the thing you need are rather far from each other so a bicycle is a must. I think most of the foreign students that went to Kagawa lost weight. About club activities in japan rather than having several activities it possible to have one that is practiced 3 to five times a week. In my case I chose Kendo I got to make many friend and they teach me a lot about Japanese culture. About the things I should do in the cities I visit. It's a great way to familiarize yourself with Japan. Then there is the shy Japanese student, have to go to them and make them less shy or miss out on great opportunities. After making a few friends life in japan is more interesting and even more enjoyable. I made a lot of friend in English café. I tried a lot of new dishes even tried making some myself (don't try my Onigiri's). I got to visit the hometown of a few students that's was definitely cool. I had a great time in Kagawa university.



インターナショナルオフィスからのお知らせ

リーダー着任

この4月に国際グループリーダーとして着任しました、長竹善伸と申します。

3月までは京都工芸繊維大学というところで仕事をしており、香川に住むのは今回が初めてです。すでに半年近くが過ぎますが、とても落ち着いた、暮らしやすい街だと感じています。

いまや全国どこの大学でもグローバル化に熱心に取り組んでいます。また本学を取り巻く地域社会もグローバル化の波にさらされています。海外からの学生や研究者の受入を通してキャンパスをよりグローバルな環境にするとともに、社会からの要請として、地域の若い人材をグローバル人材として育成しなければなりません。

微力ではありますが、本学のグローバル化に少しでも貢献できればと思っております。どうぞよろしくお願いたします。

- 10月28日(金) 11時から就職活動準備セミナーを開催します。先輩からの就活体験談を聞いたり、日本文化基礎講座で接客や食事マナーを実践します。日本での就職に興味がある留学生は是非参加してください。
- 11月14日(月) 18時(予定)から企業人事担当者との交流会を開催します。地域で活躍するグローバル人材を対象に企業の担当者と軽食を食べながら交流します。留学生、留学経験者、留学に興味がある日本人学生は是非参加してください。

香川大学
インターナショナルオフィスニュース
第15号 2016年(平成28年).9.30

香川大学インターナショナルオフィス
〒760-8521 高松市幸町1-1
Tel : 087-832-1194 Fax : 087-832-1192
E-mail : soryugase@jim.ao.kagawa-u.ac.jp
URL : <http://www.kagawa-u.ac.jp/kuio/>
留学生センターfacebook
URL : <http://www.facebook.com/KUISC>